



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。

各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

- (1)ペースメーカーなどの体内埋込型機器
- (2)人工心肺などの生命維持用機器
- (3)装着型の心電計など

▲注意

●商品が脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・取付け前に補強材（躯体）の位置を確認してください。取付け位置に補強材がない場合は、必ず入れてください。
- ・石こうボードなどで補強材（躯体）が見えない場合は、工務店さまに補強材位置および固定方法を確認してください。さらに針刺しなどでねじ止め位置に補強材の中心があることを確認してください。
- ・リフォームなどの場合、補強材（躯体）位置が石こうボードで確認できない場合は、石こうボードなどはがして補強材位置を確認してください。
- ・石こうボードの表側には、補強材（躯体）は取付けないでください。
- ・補強材（躯体）は硬い木材で、虫食いやくされのない24×70mm以上のものを使用し、柱・間柱などに必ず固定してください。
- ・下地材は、必ず下穴をあけてから、ねじを固定してください。
- ・下地材の下穴は、端部から50mmの位置に1箇所ずつあけ、中間部のピッチは、455mm以下としてください。
- ・ねじは指定のものを指定本数使用して固定してください。
- ・吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引っ張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと、本体が脱落するおそれがあります。
- ・吊車（ダンパー・ばね付き）のばねを引っ張らないでください。1200mm以上ばねを伸ばすと、ばねが切れたり、外れてケガをするおそれがあります。

■取付け上のお願

●納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）

●運搬・加工の際は、キズ付かないように取扱ってください。

●本製品は上吊り方式のため、梁またはまぐさで重量を受けますので、本体重量に耐える断面の梁またはまぐさをご使用ください。

●造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。

●造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。

●造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。

●現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。

●壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。

●梁またはまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いので直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けしてください。

●埋込みガイドピン仕様のため、クッションフロアや弾性のある床には取付けないでください。部品が浮いて開閉に支障をきたす場合があります。

●枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵が上レールや吊車（ダンパー・ばね付き）に付着し、作動不良の原因になります。

- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強過ぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 枠は倒れ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。

- 下地材固定ねじの頭は、下地材表面から飛び出さないように取付けてください。上レールが正しく取付けられなくなります。
- ガイドピンは「4ガイドピンの取付け」通りに正確な位置に取付けてください。本体の開閉操作に支障がでる原因になります。
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 別梱のバーハンドルセット内に同梱されている「戸当り」「戸当り受け」は本製品には不要ですので、取付けしないでください。
- 吊車(ダンパー・ばね付き)に潤滑剤などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。
- 製品取付けの際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直張りしないでください。テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。

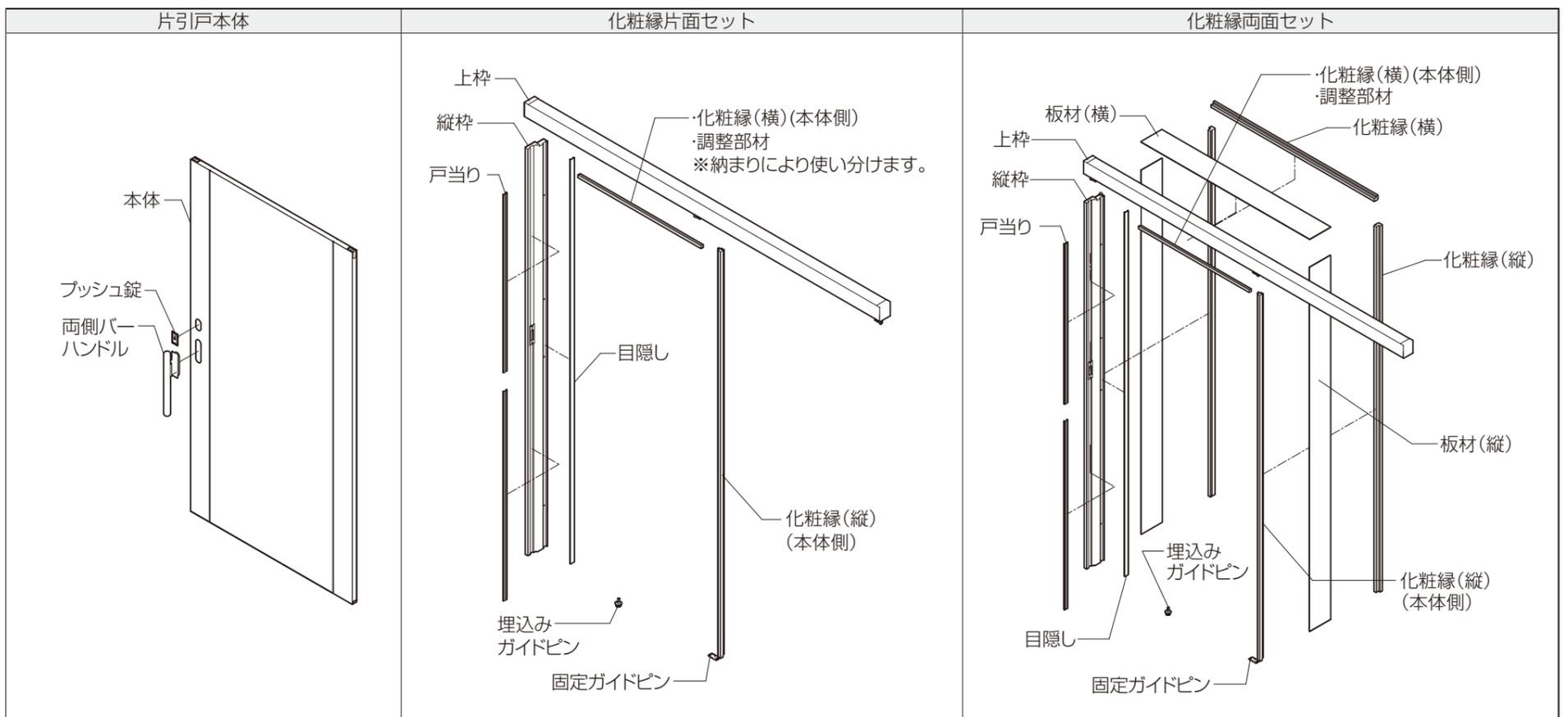
■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・昼夜などで温度差の激しい場所
 - ・湿気の多い場所

- 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部材・部品一覧表

※枠はノックダウン、本体は完成品です。



■片引戸本体

名称	入数
本体	1

■プッシュ錠セット

名称	入数
プッシュ錠本体	1
錠座カバー	1
皿タッピンねじφ3.5×8	2

■バーハンドルセット

名称	入数
バーハンドル・オス	1
バーハンドル・メス	1
皿小ねじM5×14	2
取付け説明書	1
※戸当り	1
※戸当り受け	1
※戸当り固定ねじ	1

※の部品は本製品には不要になります

■上枠セット

名称	入数
上レール	1
前面カバー	1
下地材	1
部品セット	1
取付け説明書	1

■化粧縁セット

名称	片面	両面
縦枠	1	1
化粧縁(縦)(本体側)	1	1
化粧縁(横)(本体側)	1	1
調整部材	1	1
化粧縁(縦)	-	2
化粧縁(横)	-	1
板材(縦)	-	2
板材(横)	-	1
ポリネットチューブ	-	2
戸当り	2	2
目隠し	1	1

■部品セット(上枠セット同梱)

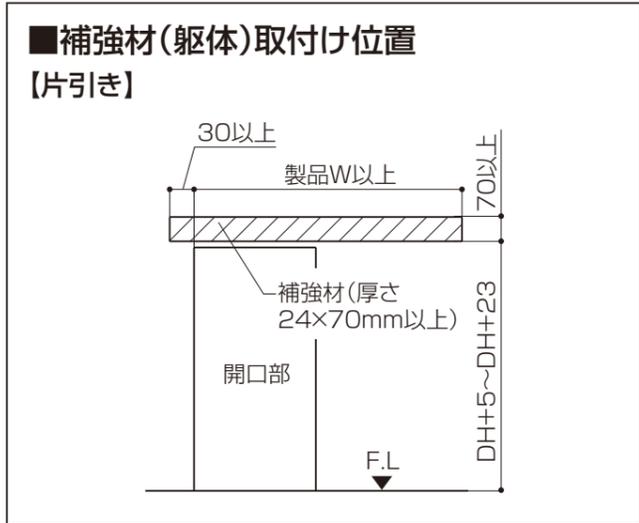
名称	入数
下地材取付け用ねじ(DNねじ65)φ3.8×65	9
上レール取付け用ねじ(特殊平皿小ねじM4×10)	17
端部キャップL/R	各1
固定ガイドピン(皿タッピンねじ2本同梱)	1
埋込みガイドピン	1
埋込みガイドピンベース	1
縦枠取付け用トラスタッピンねじφ4×50	6
端部キャップ・戸尻ストッパー取付け用ねじ(なべタッピンねじφ4×30)	4

■据付け前の準備

1 開口部の作成

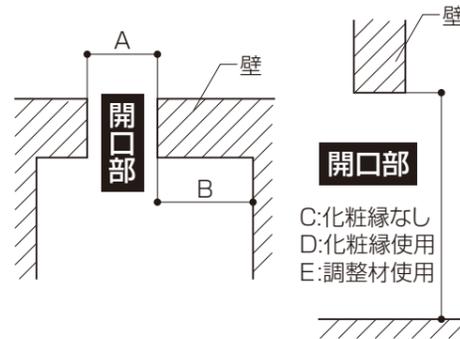
①下地材取付け用の補強材(躯体)を下図にしたがって入れてください。

②開口部を、取付け範囲(a~b)にしたがって作成してください。
※入隅納まりの場合でも、同じ寸法となります。



■取付け範囲

【片引き】



C:化粧縁なし
D:化粧縁使用
E:調整材使用

お願い
※開口寸法は、壁を仕上げた状態の寸法としてください。

a) 化粧縁片面セット使用時

	W	DW	A	B
W20	1982	1038	1038	944 以上
W22	2182	1138	1138	1044 以上
W26	2582	1338	1338	1244 以上
特注	W	(W+94)/2	(W+94)/2	(W-94)/2

	H	DH	C	D	E
H20	2028.5	1955.5	1960.5	1950.5 以下	1975.5
特注	H	H-73	H-68	H-78 以下	H-53

b) 化粧縁両面セット使用時

(板材を使用しない場合は、aと同じ範囲です。)

	W	DW	A	B
W20	1982	1038	1044	941 以上
W22	2182	1138	1144	1041 以上
W26	2582	1338	1344	1241 以上
特注	W	(W+94)/2	(W+106)/2	(W-100)/2

	H	DH	C	D	E
H20	2028.5	1955.5	1963.5	1953.5	1978.5
特注	H	H-73	H-65	H-75 以下	H-50

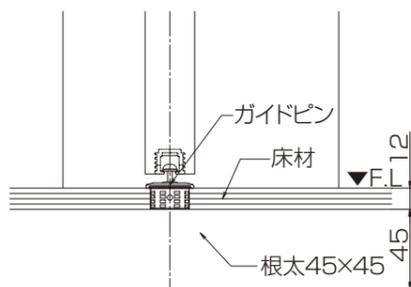
▲注意

- 商品が脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・補強材(躯体)は硬い木材で、虫食いやくされのない24×70mm以上のものを使用し、柱・間柱などに必ず固定してください。

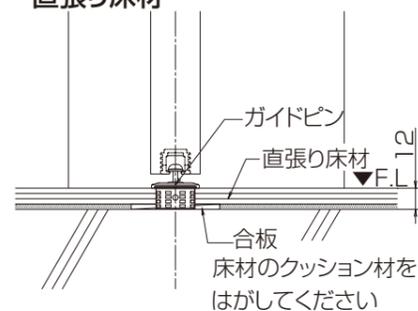
■床の張り方

※本製品は床先張り(枠後付け)専用です。枠の取付け前に床を張ってください。

木造の場合



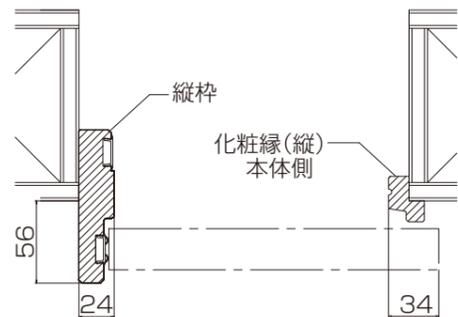
RC造の場合 直張り床材



■据付け前の準備

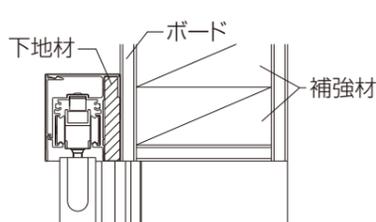
■化粧縁片面セット使用納まり例

●横断面
見付け幅: 24mm



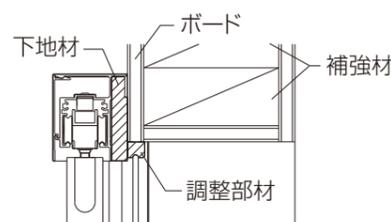
【上部調整部材なし納まり例】

●縦断面



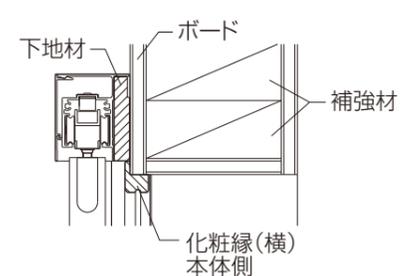
【上部調整部材使用納まり例】

●縦断面



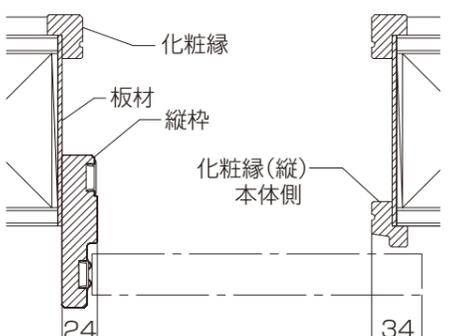
【上部化粧縁使用納まり例】

●縦断面



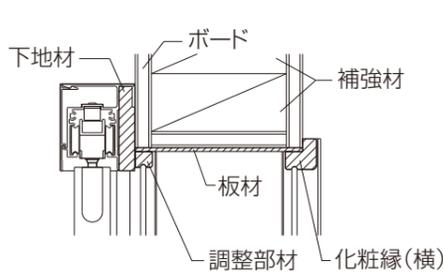
■化粧縁両面セット使用納まり例

●横断面
見付け幅: 24mm



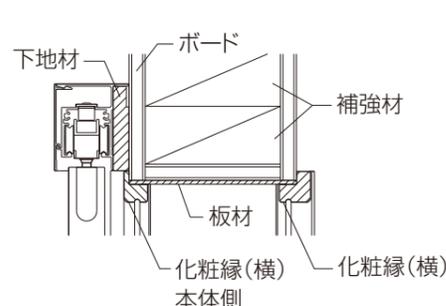
【上部調整部材使用納まり例】

●縦断面



【上部化粧縁使用納まり例】

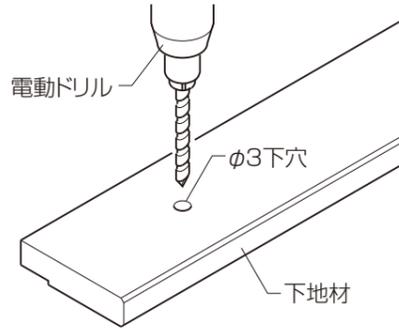
●縦断面



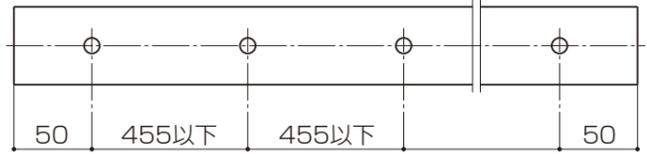
■ 枠の取付け

1 上枠の取付け

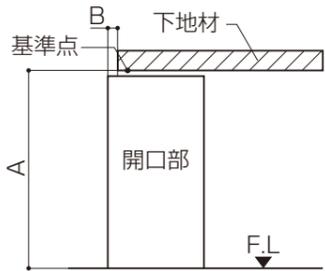
① 下地材にφ3の下穴(貫通穴)をあけます。



■ 下地材下穴ピッチ

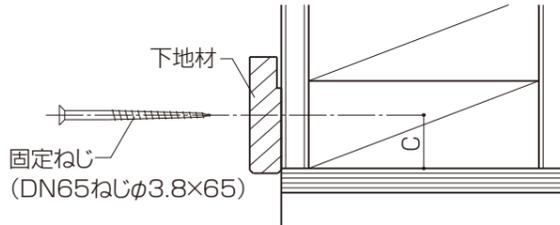


② 下地材を指定の取付け位置に、同梱の固定ねじ(DN65ねじφ3.8×65)で水平に取付けてください。



呼称	A
H20	1962.5
H特注時	DH+5

納まり	B
化粧縁片面	4
化粧縁両面	7



※C寸法は、8mm以上確保してください。
8mm以上確保できない場合は、固定ねじを斜めに打込むなどして補強材に固定してください。

お願い

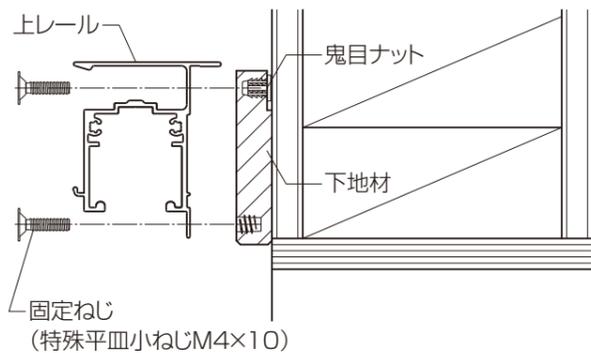
※下地材固定ねじの頭は、下地材表面から飛び出さないように取付けてください。上レールが正しく取付けられなくなります。
※下地材は水平に取付けてください。水平に取付けていない場合、自閉機能の作動不良の原因になります。

▲ 注意

- 商品が脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・下地材は、必ず下穴をあけてから、ねじを固定してください。
- ・下地材の下穴は、端部から50mmの位置に1箇所ずつあけ、中間部のピッチは、455mm以下としてください。
- ・ねじは指定のものを指定本数使用して固定してください。

③ 上レールを下地材に取付け済みの鬼目ナット位置に合わせて、同梱のねじ(特殊平皿小ねじM4×10)で取付けます。

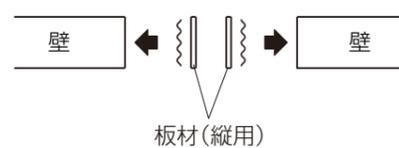
※上レールには吊車が取付いています。



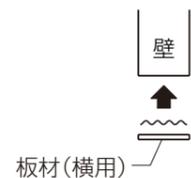
■ 両面化粧縁の場合

※板材を開口部に取付けた後、化粧縁材を取付けてください。
※板材の開口部への取付けは、裏面(〰️面)に接着剤を塗布して固定してください。また、板材への化粧縁材の固定用接着剤は、同梱のポリネートチューブを使用してください。

●横断面図

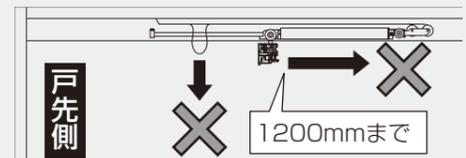


●縦断面図



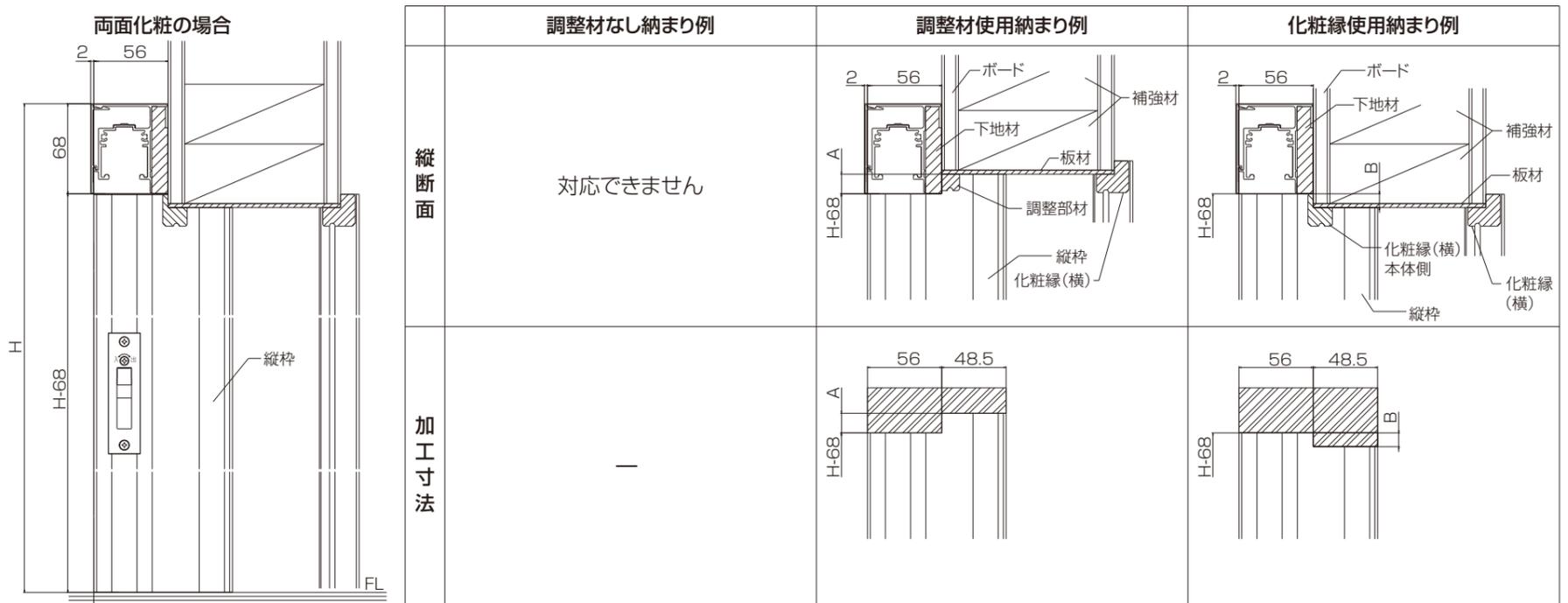
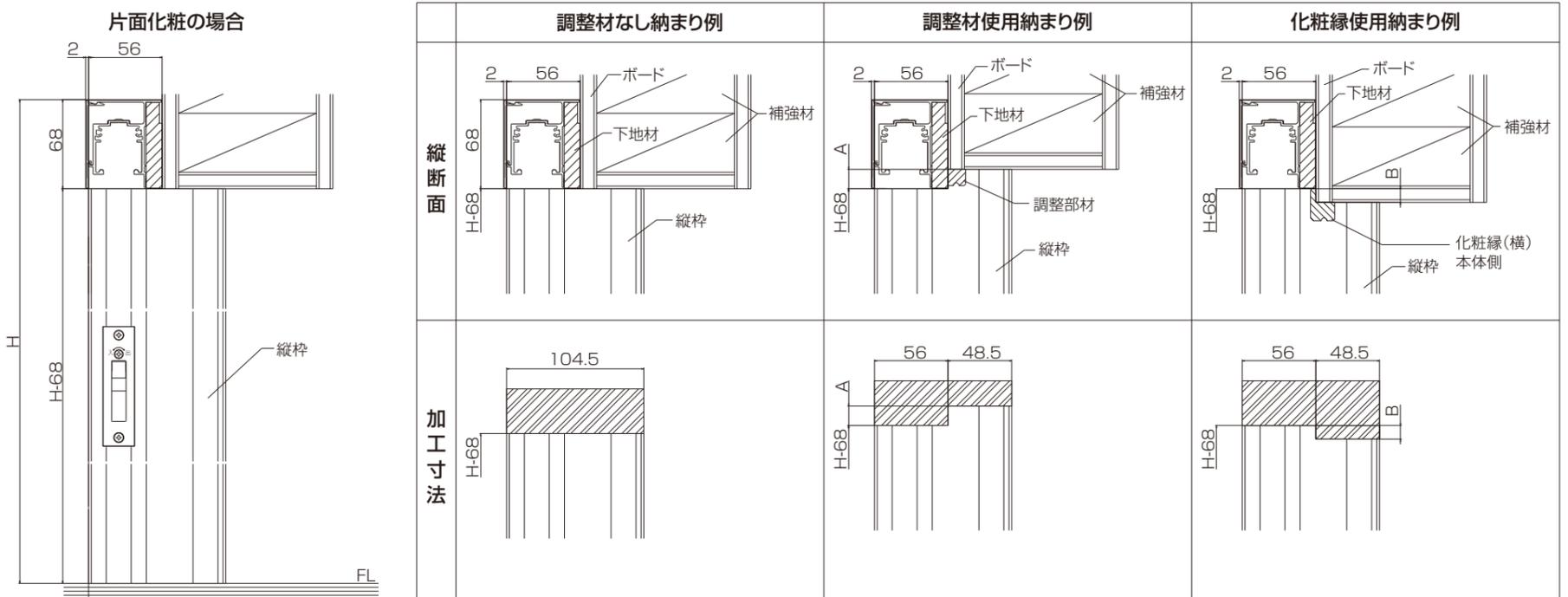
▲ 注意

- 吊車(ダンパー・ばね付き)のばねを引っ張らないでください。1200mm以上ばねを伸ばすと、ばねが切れたり、外れてケガをするおそれがあります。

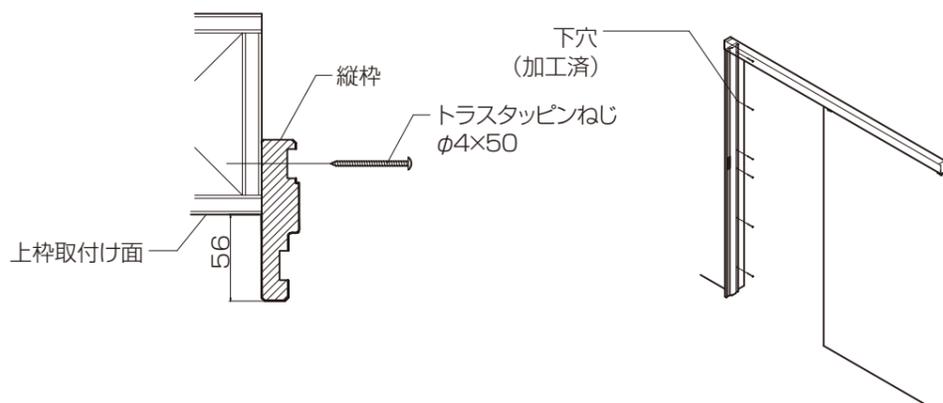


2 縦枠の取付け

①現場の納まりにあわせて縦枠の切断加工します。



②上レールと床の内側に、上レール側を基準として躯体から 56mm 飛び出させた状態で、トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 50$ 6本で固定します。

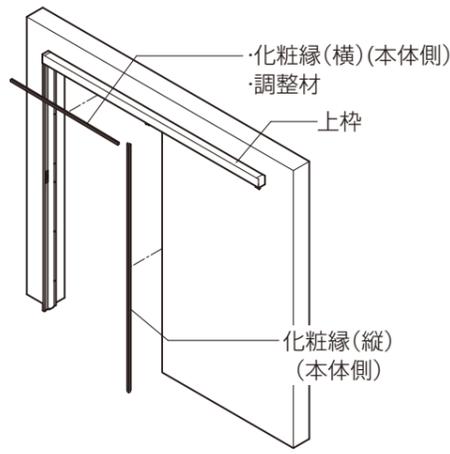


お願い

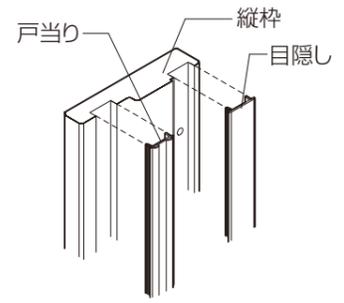
※縦枠は、垂直を出して取付けを行ってください。本体が縦枠の突起に当たり、閉まり切らなくなります。

3 化粧縁の取付け

- 化粧縁材を現場寸法に合わせて切断します。
- 化粧縁材の裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、かくし釘で固定します。
※かくし釘のピッチは、200~300mmです。
※化粧縁材の取付け面は、接着剤がつくように仕上げてください。

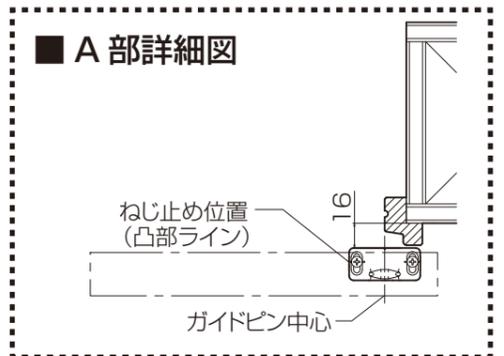
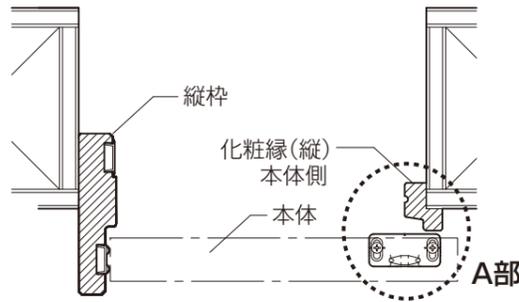


- 縦枠の溝に戸当り、目隠しを接着剤(現場手配)で取付けます。

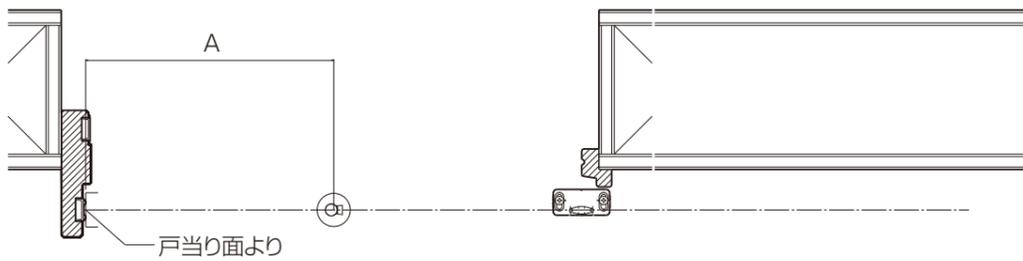


4 ガイドピンの取付け

- 固定ガイドピンを取付けてください。
●固定ガイドピンを枠に同梱のねじ(皿タッピンねじφ3.5×20)で固定します。
※本体の開閉操作に影響が出ますので、必ずA部詳細図を参照してください。
●図の位置および、向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴(2カ所)の凸部(ライン)位置にねじ止めしてください。



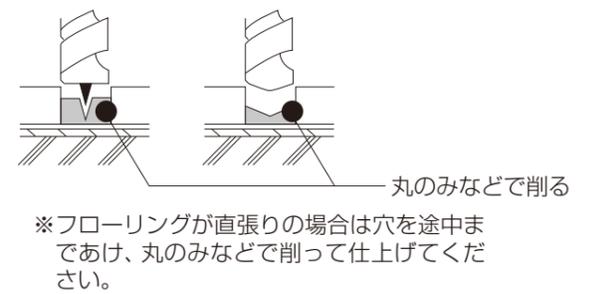
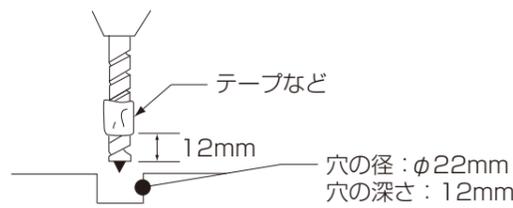
- 埋込みガイドピンの位置出しをしてください。
下図の位置にガイドピンの位置出しをしてください。
※位置のズレは開閉方向で±10mm以下、本体の面方向で±2mm以下で位置出しをしてください。
ズレが大きい場合、開閉時に本体がピンから外れる場合があります。



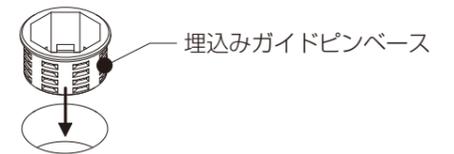
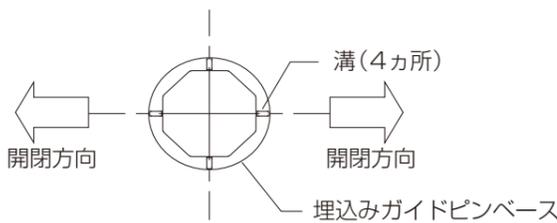
●サイズ別ガイドピン取付け位置 (A寸法) (単位:mm)

呼称	W	DW	A寸法
W20	1982	1038	450
W22	2182	1138	500
W26	2582	1338	600
特注	W	(W+94)/2	(W-182)/4

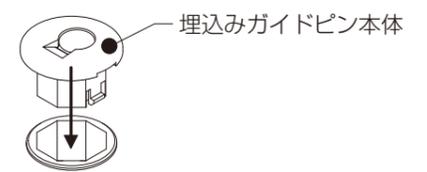
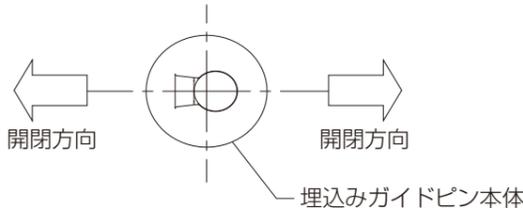
- 埋込みガイドピンの位置にドリル(φ22)で穴を開けてください。
※ドリルの穴の深さの位置にテープを巻き目印とすると確実に12mm深さの穴をあけることができます。
※穴の深さが不足していると埋込みガイドピンベースが最後まで入らず走行性が悪くなります。
※穴をあけた後、バリ、切粉を取り除いてください。
※穴をあける際は床に対してドリルを垂直にしてください。本体開閉時の走行性が悪くなるおそれがあります。



- 埋込みガイドピンベースを部品のつば部の溝が本体の走行方向に並行、または垂直になるように穴にはめ込んでください。
※直接部品をたたかず、あて木などを使用してください。床にキズがついたり部品が破損するおそれがあります。
※確実に埋込みガイドピンベースがはまっていることを確認してください。



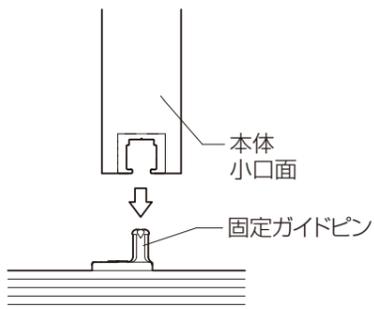
- 埋込みガイドピンベースにガイドピン本体を図のようにカチッと音がするまで押込んでください。
※本体の吊込み後にピンの位置調整をします。本体吊込み後に、ガイドピン本体を取付ける場合は紛失に注意してください。



5 本体の吊込み

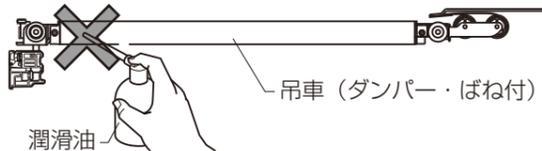
※本体の吊込み前に以下の作業を行ってください。

①本体を持上げて、本体下部の溝にガイドピンを入れます。



お願い

※吊車（ダンパー・ばね付き）に潤滑油などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。



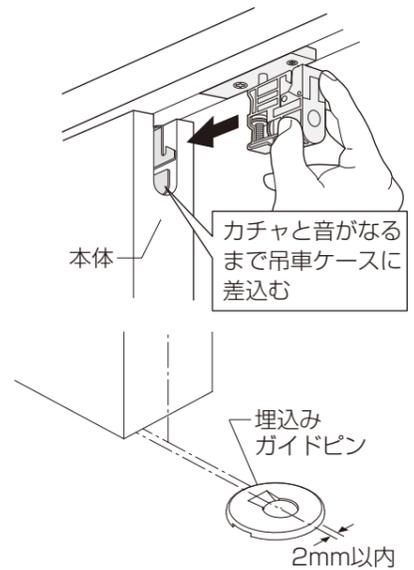
②片側ずつ吊車を本体に**水平に押込む**と、ワンタッチで取付けられます。

③本体と床のチリ寸法が8(-1、+2)mmの範囲にあることを確認してください。調整が必要な場合は『■本体の調整2上下調整』の手順にそって調整をしてください。

※本体と床の隙間が範囲から外れていると、ガイドピンが外れたり、ガイドピン本体と引戸の下部がこすれる場合があります。

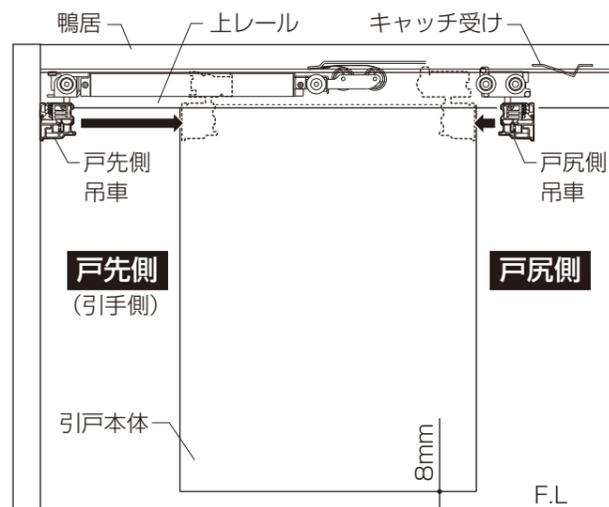
④埋込みガイドピンの中心が本体の中心から2mm以内にある事を確認してください。調整が必要な場合は『■本体の調整3ガイドピン位置前後調整』の手順にそって調整をしてください。

【本体の取付け方】



▲ 注意

●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押込んでください。押込み後、引っ張って抜けないことを確認してください。押込みが足りないと本体が脱落するおそれがあります。



■ 本体の調整

1 左右調整(調整幅左右各1.5mm)

●左右調整は上吊片引戸の場合、中縦枠と本体のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ9mm)に実施してください。

①吊車を本体から外します。

②下記の上下調整の手順で、幕板とあたらない位置まで吊車を下げます。

③左右調整ねじをゆるめ、左右に吊車を動かして位置を調整します。

④左右調整ねじをゆるみなく締め、本体を取付けます。

※左右調整した場合は、本体が常に垂直になるように埋込みガイドピンの調整をしてください。

調整しないと開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。

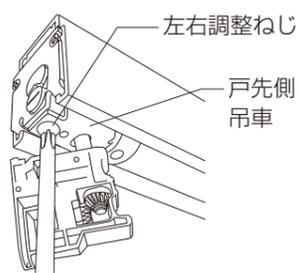
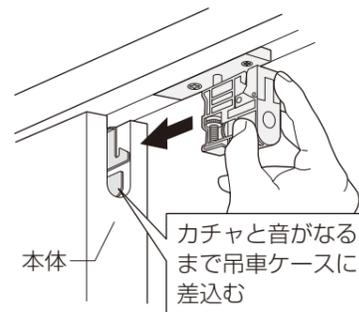
お願い

※本体の調整には手回しドライバーを使用してください。調整ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。

【本体の取外し方】



【本体の取付け方】

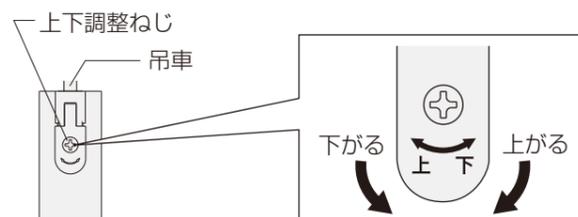


2 上下調整(調整幅 上5mm、下3mm)

●プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。

※本体を下げ過ぎると埋込みガイドピンが当たりますので、下げ過ぎないようにご注意ください。

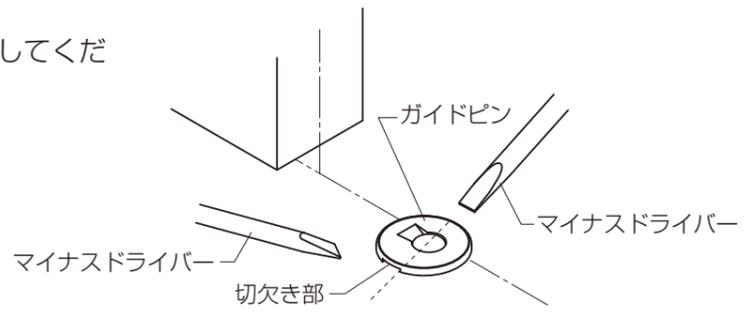


3 ガイドピン位置前後調整（調整幅4mm）

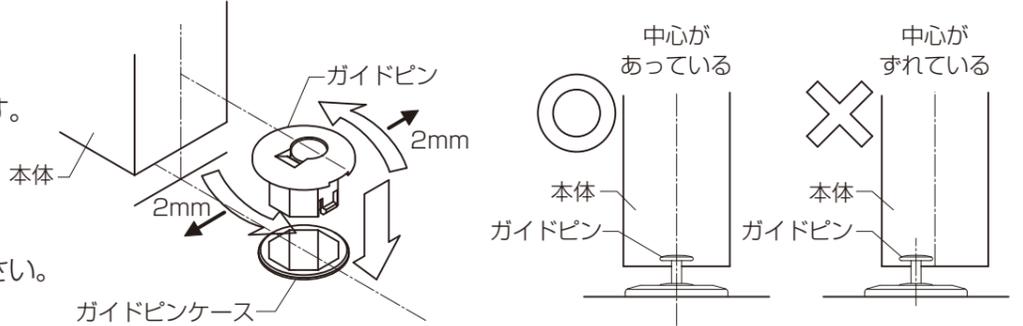
●固定ガイドピンを切欠き部（2カ所）にマイナスドライバーを同時に差込んで外してください。

※切欠き部1カ所だけで外すと、製品が変形するおそれがあります。

※床にキズがつかないようにマイナスドライバーの下にあて布をして外してください。



- 本体が静止していることを確認し、本体の中心線上にガイドピンの先端がくるようにガイドピンをまわして位置をあわせてください。
- ※中心のズレは2mm以下に調整してください。
- ※中心がずれていると、開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。
- ※ガイドピンケース内部、ガイドピン本体にゴミなどが入り込んでいる場合はきれいに取り除いてください。

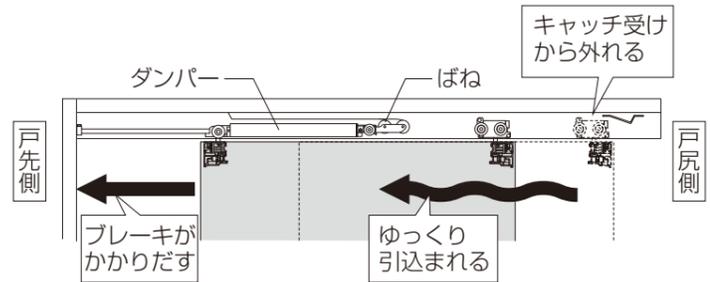
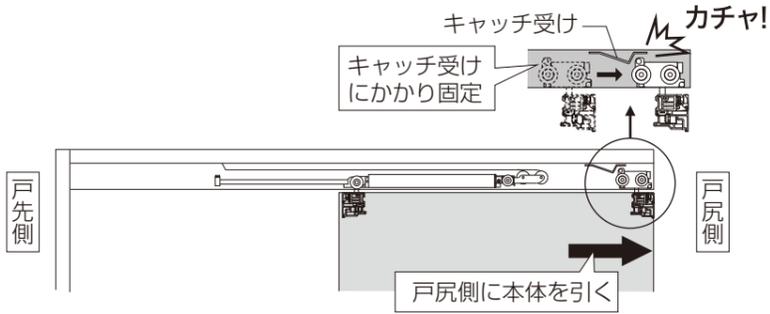


●位置があったらガイドピンをガイドピンケースへ最後まで押込んでください。

4 動作確認

●扉を全開します。カチャと音がするまで扉を戸尻側に引きます。

●扉を全閉します。扉を引手側に引くと、自閉機能の働きで、扉がゆっくりと引手側に引込まれていきます。

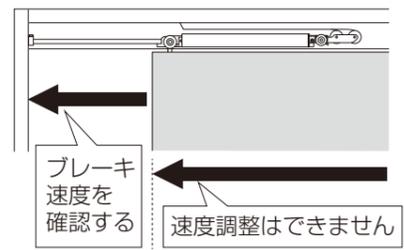
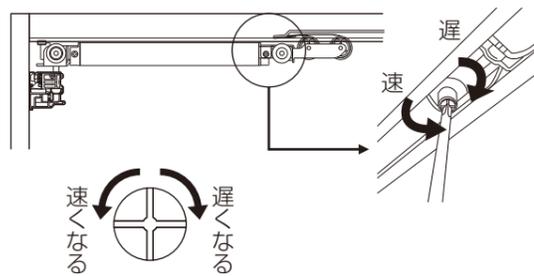


5 ブレーキ速度の調整

①戸先側吊車を扉から外します。

②速度調整ねじで速度を調整します。

③調整後、扉を取付けて速度を確認してください。
※閉まる直前から全閉までの速度調整です。全開から閉まる直前までの速度調整はできません。

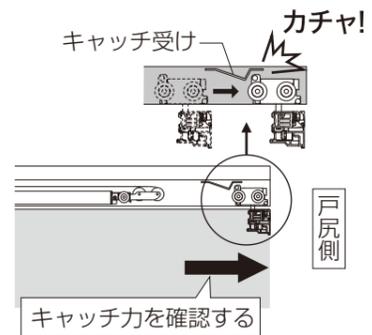
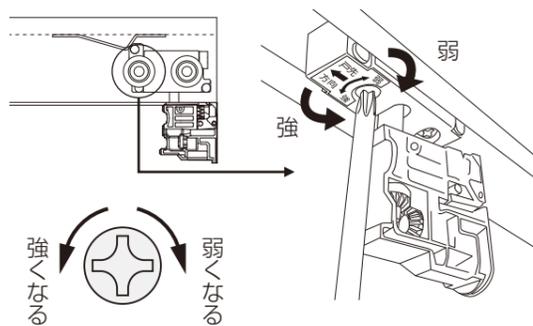
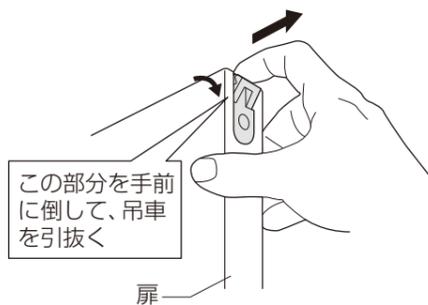


6 キャッチ力の調整

①戸尻側吊車を扉から外します。

②キャッチ力調整ねじでキャッチ力を調整します。

③調整後、扉を取付けてキャッチ力を確認してください。

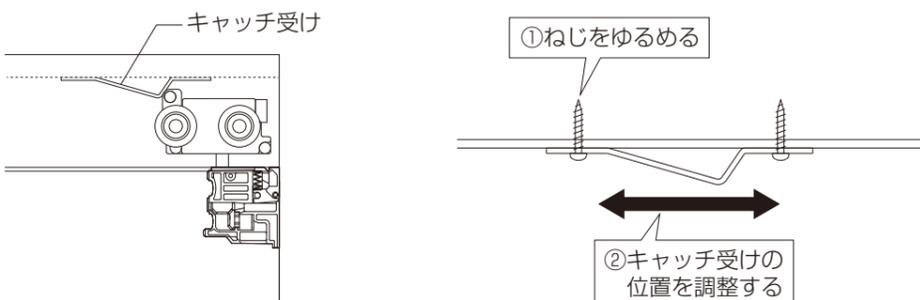


7 キャッチ位置の調整

キャッチ受けのねじをゆるめ、キャッチ受けの位置を調整します。

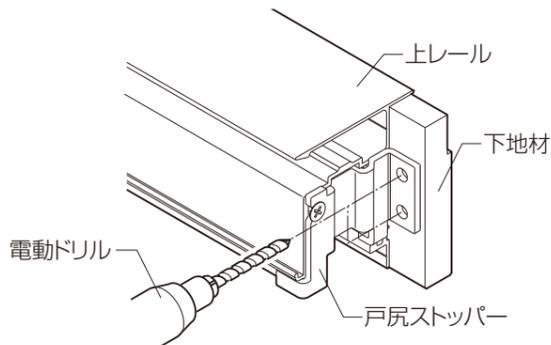
(調整幅左右各4mm)

調整後はねじをゆるみなく締付けてください。

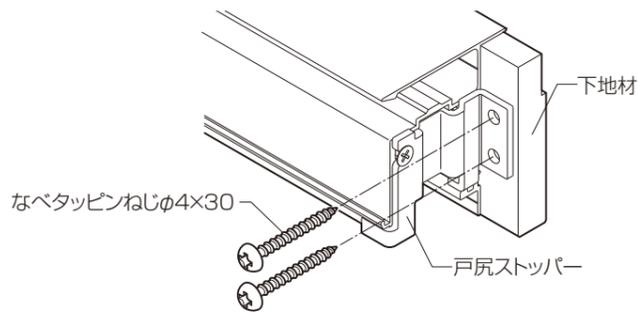


戸尻ストッパーの取付け

●戸尻ストッパーのねじ穴に合わせてφ3の下穴をあけます。

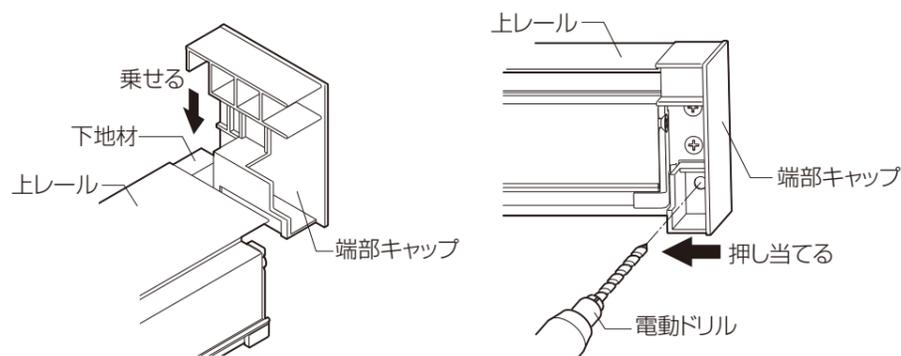


●戸尻ストッパーを同梱のねじ(なべタッピンねじφ4×30)で下地材に固定します。

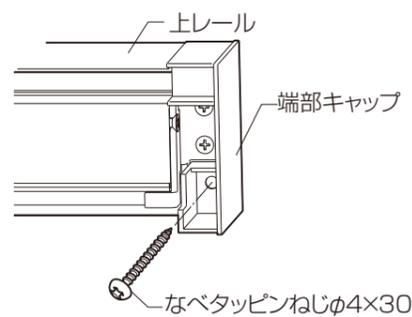


端部キャップの取付け

●端部キャップを下地材に乗せ、上レール側に押し当てます。ねじ穴に合わせてφ3の下穴をあけます。

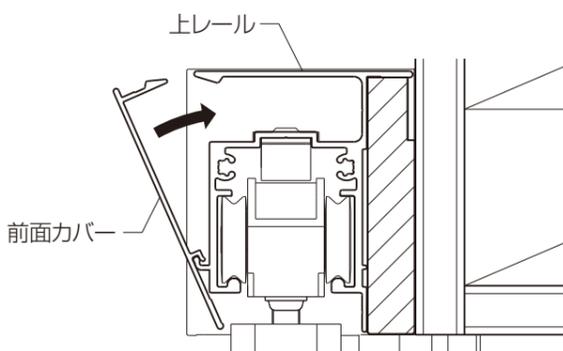


●端部キャップL/Rを同梱のねじ(なべタッピンねじφ4×30)で下地材に固定します。



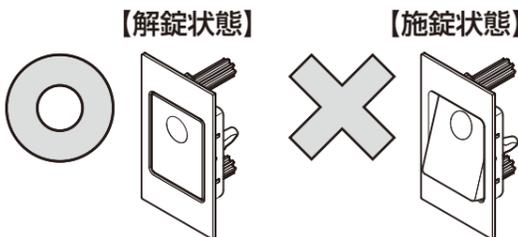
前面カバーの取付け

●前面カバーを上レールにはめ込みます。

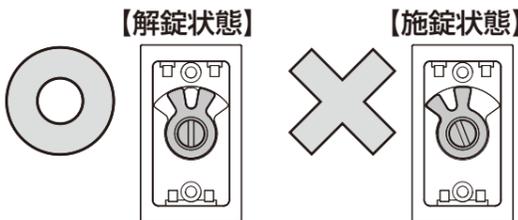


引戸錠の取付け

①スイッチ座が解錠状態(フラットな状態)になっていることを確認して、スイッチ座を鎌錠のスロット穴に差込んでください。

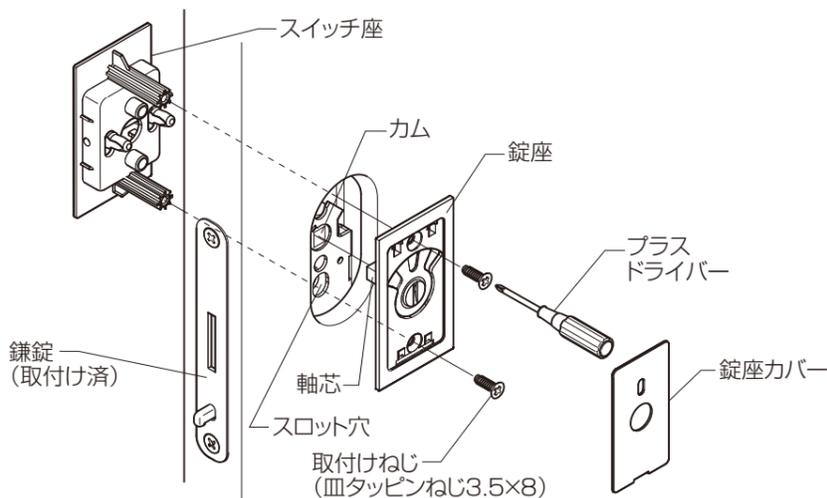


②スイッチ座の軸心が解錠状態になっていることを確認して、錠座の軸芯を鎌錠のカムに差込んでください。



③スイッチ座と錠座を取付けねじで固定してください。

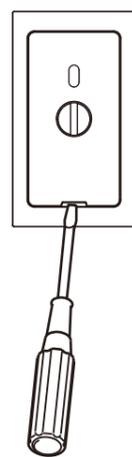
④錠座カバーを錠座に取付けてください。



錠の取外し

①錠座カバー下部の切欠き部にマイナスドライバーを差込んで錠座カバーを外してください。

お願い
※無理矢理カバーを外さないでください。錠座カバーが破損するおそれがあります。



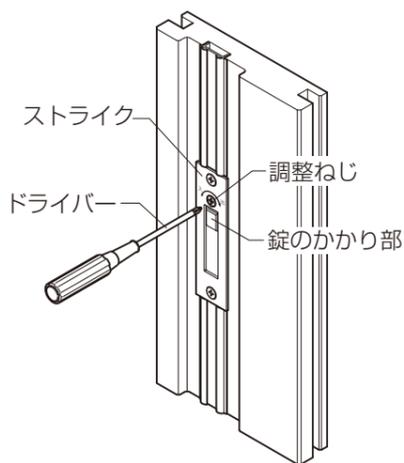
②スイッチ座と錠座の取付けねじをゆるめてください。

③錠座とスイッチ座を外してください。

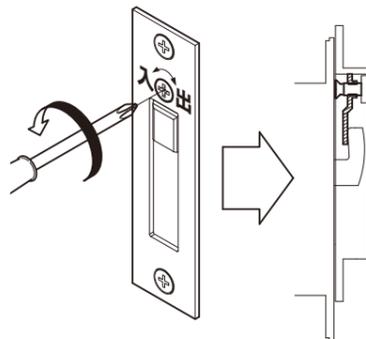
お願い
※必ず手回しドライバーでねじを固定してください。
※取付けねじを締付け過ぎないでください。錠座が反ります。

■引戸錠の調整

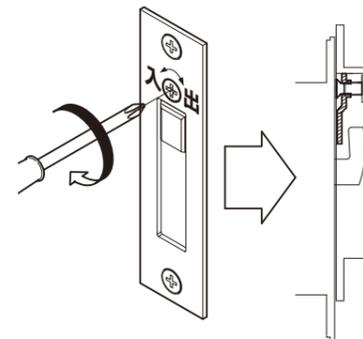
- ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



- 本体と引戸錠のすき間が大きい場合
調整ねじを左に回して調整してください。



- 錠がかかりにくい場合
調整ねじを右に回して調整してください。

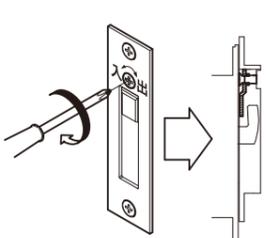
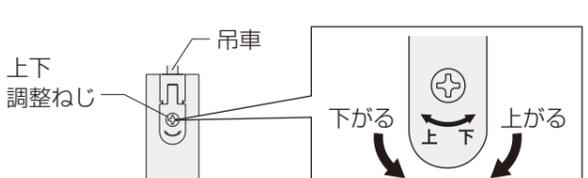
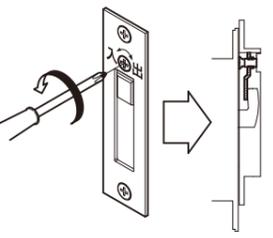
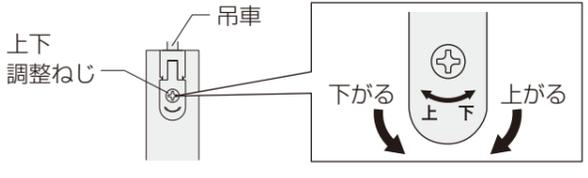


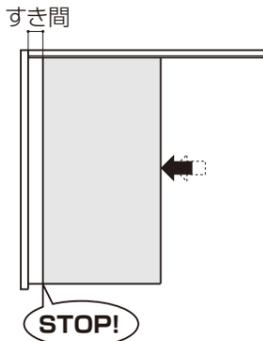
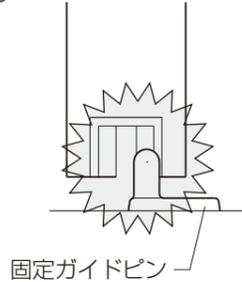
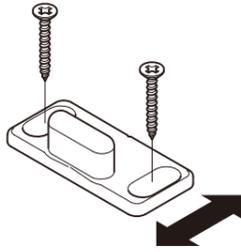
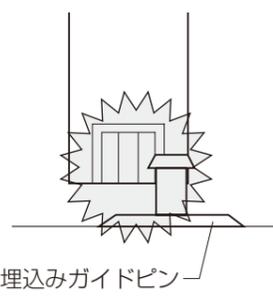
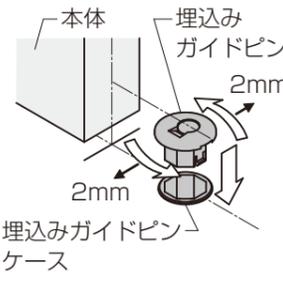
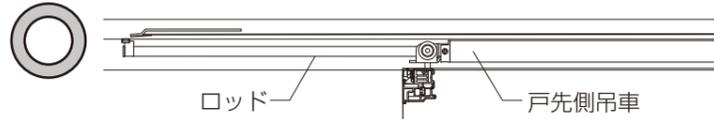
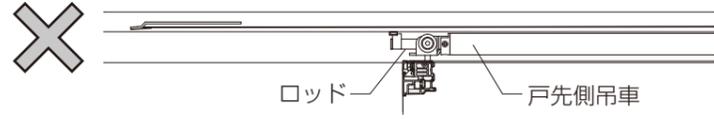
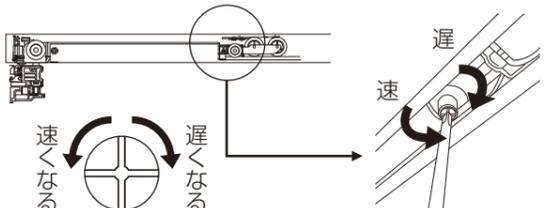
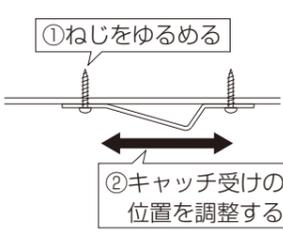
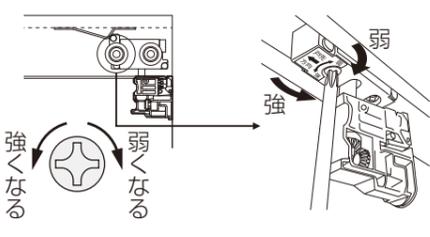
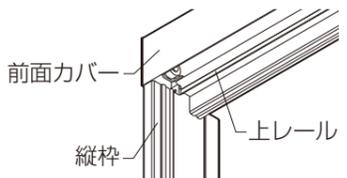
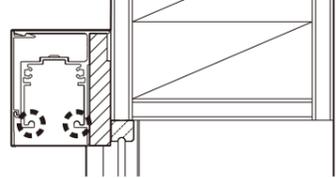
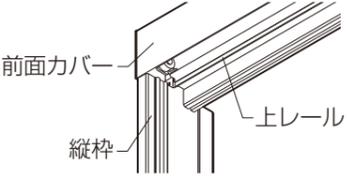
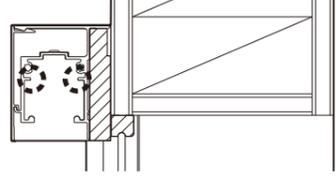
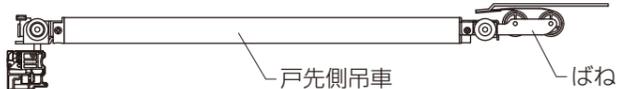
※美和ロック FN 錠ストライクには、錠のかかり調整機能は付いていません。
調整が必要な場合は、吊車上下調整 (7/13) で対応してください。

■バーハンドルの取付け

バーハンドルの取付けについては、別梱のバーハンドルセットに同梱の取付け説明書をご覧ください。
※バーハンドルに同梱の戸当り・戸当り受けは使用しません。

■異常時の対処方法

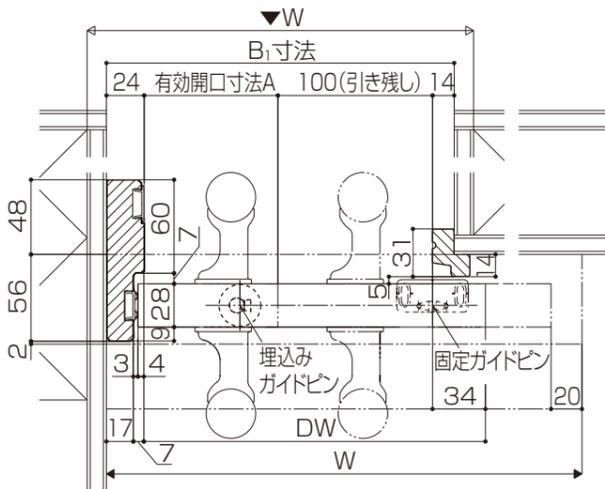
No.	現象	チェックポイント	対処方法
①	錠がかからない 	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを右に回してください。 
		●本体の上下位置が不適當 ●本体が傾いている	錠がかかるように本体の位置を調整してください。 ■吊車の調整 (自閉機能) プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。 (調整幅 上 5mm、下 3mm) 
②	錠が甘い (縦枠と本体戸先にすき間が開く)	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを左に回してください。 
		●本体の上下位置が不適當 ●本体が傾いている	錠がかかるように本体の位置を調整してください。 ■吊車の調整 (自閉機能) プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。 (調整幅 上 5mm、下 3mm) 

No.	現象	チェックポイント	対処方法
③	閉まりきらない 動きが重い 	●本体が固定ガイドピンと擦れている 	本体が固定ガイドピンと擦れないように調整してください。 ■固定ガイドピンの調整 ねじを外して前後に調整して固定してください。 
		●本体が埋込みガイドピンと擦れている 	本体が埋込みガイドピンと擦れないように調整してください。 ■埋込みガイドピンの調整 ガイドピン位置前後調整 (8/13) を参照して調整してください。 
④	ブレーキが効かない	●開時に、戸先側吊車 (ダンパー・ばね付) のロッドが伸びきらない 	戸先側吊車 (ダンパー・ばね付) を交換してください。 
		●ロッドは伸びきるが、ブレーキが効かない	速度調整ねじを調整してください。 ■ブレーキ速度の調整 上記の手順と同様に、吊車を本体から外します。 速度調整ねじで速度を調整します。 
⑤	(全開時) 静止状態にならない	●戸尻側のキャッチ部の調整ができていない	キャッチの位置、キャッチ力の調整をしてください。 ■キャッチ位置の調整 キャッチ受けのねじをゆるめ、キャッチ受けの位置を調整します。(調整幅左右各 4mm) 調整後はねじをゆるみなく締めつけてください。  ■キャッチ力の調整 上記の手順と同様に、吊車を本体から外します。キャッチ力調整ねじでキャッチ力を調整します。 
⑥	異音がある (上レールと車輪部)	●上レールにゴミが付着している 	上レールの下部ガイド部を清掃してください 
	異音がある (上レールとロッド先端部)	●上レールにゴミが付着している 	上レールの上部ガイド部を清掃してください 
	異音がある (戸先側吊車 ばね部)	●開閉操作で「カシャカシャ」という異音がある	ばねが損傷し切れるおそれがあるため戸先側吊車 (ダンパー・ばね付) を交換してください。 

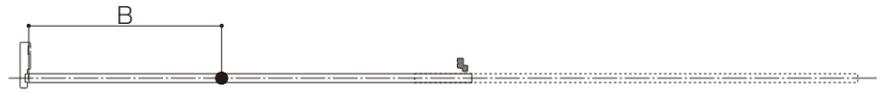
参考納まり図

【化粧縁片面セット】

横断面図



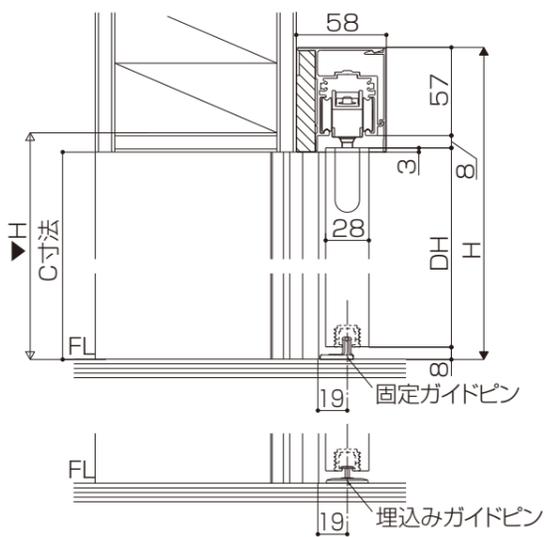
埋込みガイドピン配置図



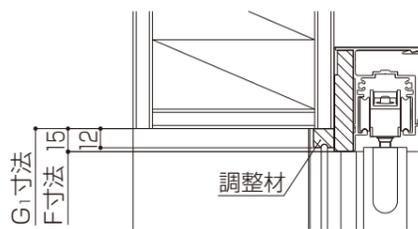
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法	B ₁ 寸法
W20(1982)	900	450	1038
W22(2182)	1000	500	1138
W26(2582)	1200	600	1338
特注	$(W-182)/2$	$(W-182)/4$	$(W+94)/2$

縦断面図

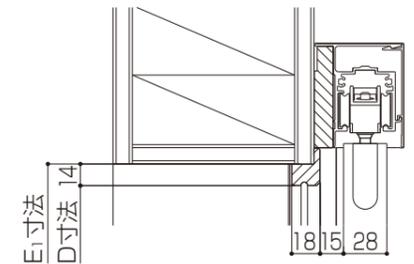
(標準納まり)



(上部調整材納まり)



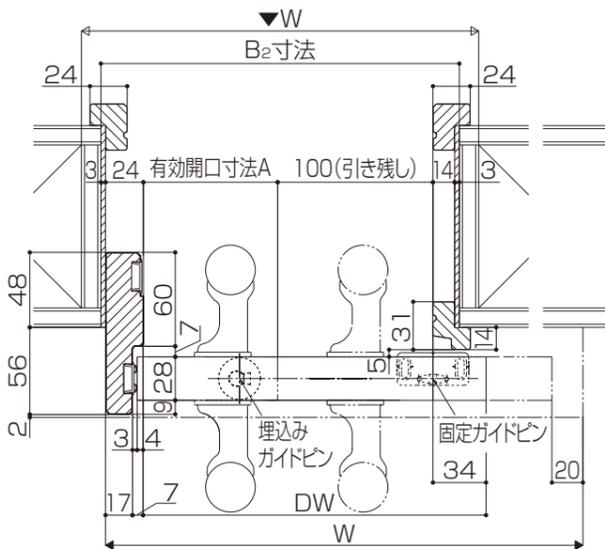
(上部化粧縁納まり)



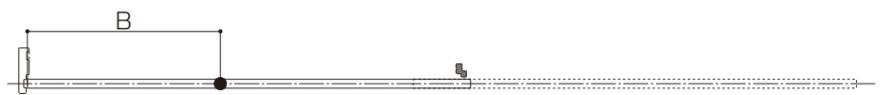
H呼称 (枠外寸法)	C寸法	D寸法	E ₁ 寸法	F寸法	G ₁ 寸法
H20(2028.5)	1960.5	1936.5	1950.5	1960.5	1975.5
特注	H-68	H-92	H-78	H-68	H-53

【化粧縁両面セット】

横断面図



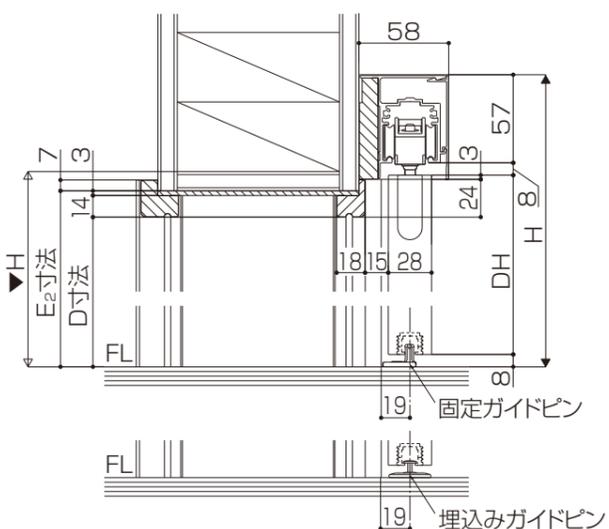
埋込みガイドピン配置図



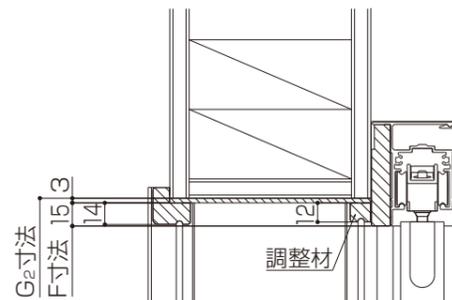
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法	B ₂ 寸法
W20(1982)	900	450	1044
W22(2182)	1000	500	1144
W26(2582)	1200	600	1344
特注	$(W-182)/2$	$(W-182)/4$	$(W+106)/2$

縦断面図

(上部化粧縁納まり)



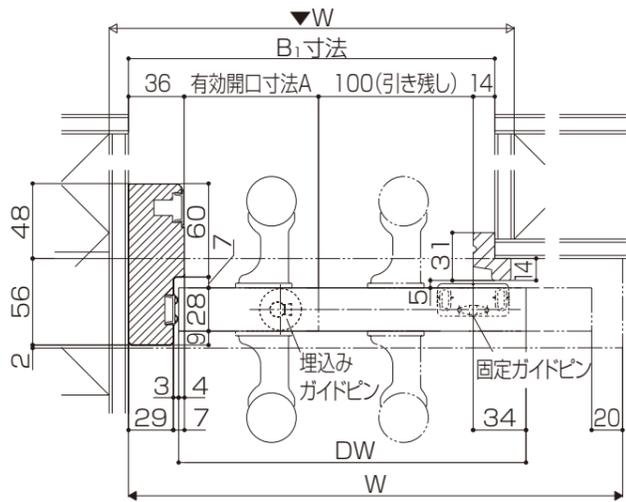
(上部調整材納まり)



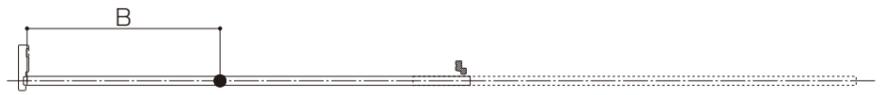
H呼称 (枠外寸法)	C寸法	D寸法	E ₂ 寸法	F寸法	G ₂ 寸法
H20(2028.5)	1960.5	1936.5	1953.5	1960.5	1978.5
特注	H-68	H-92	H-75	H-68	H-50

【化粧縁片面セット 美和ロックFN錠】

■横断面図



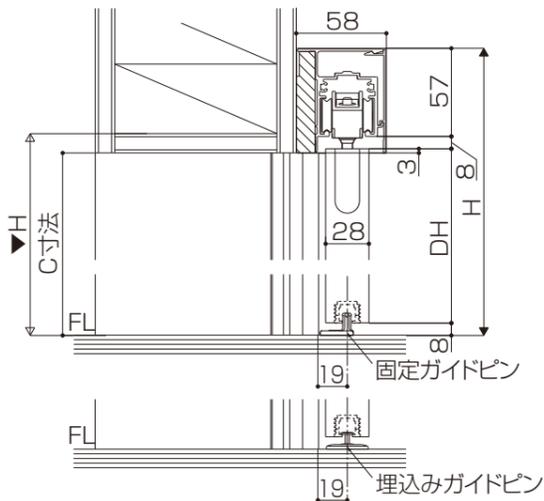
埋込みガイドピン配置図



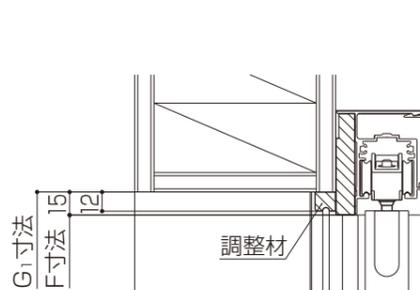
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法	B ₁ 寸法
W20(1994)	900	450	1050
W22(2194)	1000	500	1150
W26(2594)	1200	600	1350
特注	(W-194)/2	(W-194)/4	(W+106)/2

■縦断面図

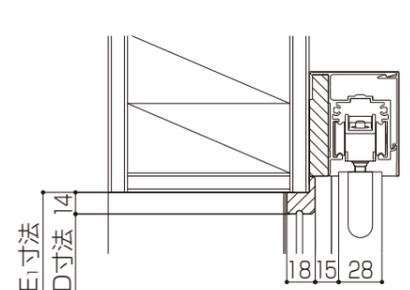
(標準納まり)



(上部調整材納まり)



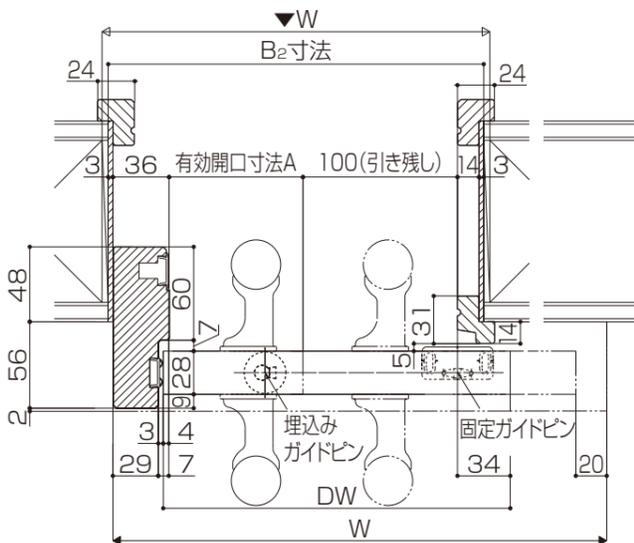
(上部化粧縁納まり)



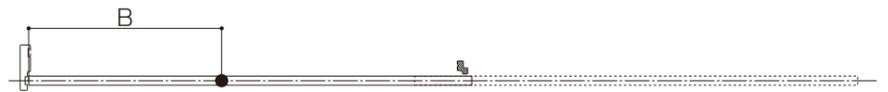
H呼称 (枠外寸法)	C寸法	D寸法	E ₁ 寸法	F寸法	G ₁ 寸法
H20(2028.5)	1960.5	1936.5	1950.5	1960.5	1975.5
特注	H-68	H-92	H-78	H-68	H-53

【化粧縁両面セット 美和ロックFN錠】

■横断面図



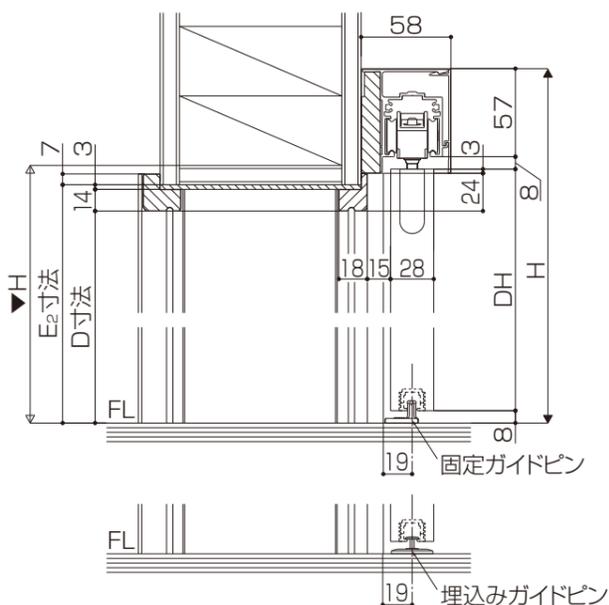
埋込みガイドピン配置図



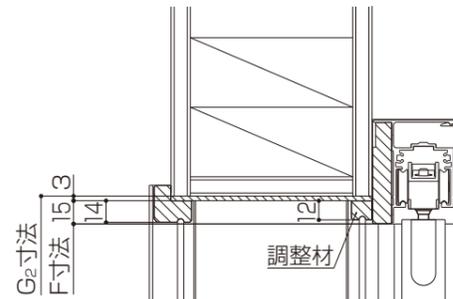
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法	B ₂ 寸法
W20(1994)	900	450	1056
W22(2194)	1000	500	1156
W26(2594)	1200	600	1356
特注	(W-194)/2	(W-194)/4	(W+118)/2

■縦断面図

(上部化粧縁納まり)



(上部調整材納まり)



H呼称 (枠外寸法)	C寸法	D寸法	E ₂ 寸法	F寸法	G ₂ 寸法
H20(2028.5)	1960.5	1936.5	1953.5	1960.5	1978.5
特注	H-68	H-92	H-75	H-68	H-50